

絵カードQ&Aテスト【生徒用・課題カード】

Class _____ No. _____ Name _____

 **ゴール:** 1枚の絵について、質問に答え、自分でも2文で説明できる

場面 「公園の絵」を見ながら先生とトーク。絵の中の人や物について、見たまを英語にしよう。

①先生の質問に答える(例: What is the boy doing? — He is running. / Where is the cat? — It is under the bench.) ②自分で2文、絵の説明(A girl is ~ing. / There is a ~.)

準備 テストまでにすること(授業1回)

練習用の別の絵で、ペアがランダムに指さした人物を英語で説明するゲームを2回。進行形と場所の前置詞(in/on/under/by)を確認。

本番 時間: 1人90秒 / 評価: 4観点×3段階(12点)

達成	相手に伝わったか・目的をはたせたか(いちばん大事!)
正確さ	今回の言語材料が正しく使えたか
流暢さ	止まらずに続けられたか(完ぺきでなくてOK、リカバリーも実力)
態度・やり取り	あいづち・聞き返し・相手への質問があったか

✓ 聞き返し(Pardon? / One more time, please.)は減点ではなく加点。本物の会話の技だから、遠りよく使おう。

ねらい このテストは何を・なぜ測るのか

測る力	視覚情報を英語に変換する即時の描写力(見る→言うの回路)
なぜ必要か	英検3級以降の二次試験・高校入試の写真描写に直結する形式を、中1の語彙でも成立する形で先取りする。 「絵にあるものしか聞かれない」ため暗記が効かず、進行形・前置詞の本当の定着度が出る。

評価 ルーブリック(B列＝評価規準「おおむね満足の姿」。採点前に一読してから始める)

達成	A(3点) 質問応答＋自分の説明2文で絵の様子 が豊かに伝わった	B(2点)＝評価規準 質問に答え、自分でも1～2文説明で きた	C(1点) 指さし・単語のみ
正確さ	A(3点) be+ingと前置詞が正しい	B(2点)＝評価規準 誤りはあるが場面は通じる(He running等が1回程度)	C(1点) 形が崩れて伝わらない
流暢さ	A(3点) 見て→即、口が動く	B(2点)＝評価規準 考えながらでも続いた	C(1点) 長い沈黙
態度	A(3点) 絵を指し示しながら相手に伝える工 夫	B(2点)＝評価規準 落ち着いて応答	C(1点) 応答放棄

✓ C→Bの手立て: 条件を1つ減らして再挑戦の機会を(例: メモを見てよい・時間を短く)。再テストはB上限にせず、できた姿をそのまま評価する

運用 当日の流れ(2コマ or 帯で分割)

1	ルーブリック(このページ)のB列を一読してから開始——「おおむね満足の姿」を採点の物差しとして頭に置く
2	課題カード(1ページ目)の場面と評価観点を全体で確認(2分)。聞き返しは加点、と必ず伝える
3	順番票にしたがって実施(1人90秒)。採点はその場で記録シートに○をつけるだけ
4	待ち時間の生徒には観察メモ(よかった表現を1つ書く)または自習課題を指定
5	全員終了後、よかった例を2～3、名前を挙げてほめて締める(次回への空気づくり)

☆運用のコツ 絵は「人が4人以上・動作がばらばら」のものが最適(本サイトの進行形ドリルの場面が流用可)。同じ絵を使い回すと後の生徒が有利になるので、絵は2～3枚をローテーション。

記録

その場で○をつけるだけ(A=3 B=2 C=1)

名前	達成	正確さ	流暢さ	態度	計	メモ(次への一言)
_____					/12	
_____					/12	
_____					/12	
_____					/12	
_____					/12	
_____					/12	
_____					/12	
_____					/12	

✓ 印刷して名簿順に並べておくと、テスト中の記入が3秒で済みます。「メモ」は返却時のフィードバックの種——1語でOK。